

2016年4月16日(土)

「申し送り」の実践紹介

—候補者アンケートで評価された授業—

首都大学東京 野村愛 nomura@tmu.ac.jp

1. 首都大学東京 EPA 候補者対象日本語コース概要

目 標：1. 介護現場でのコミュニケーション能力の向上

2. 介護福祉士国家試験に対応できる基礎的な専門日本語力の強化

対 象：首都圏の受入施設で就労する来日1年目の候補者

学習項目：①会話・聴解、②文法・オノマトペ、③短文読解(各5回)

期 間：5月～1月(合計18回；講義15回+テスト3回) 時 間：10:00～16:00(5時間)

※具体的なコーススケジュール(URL)：<http://epa.hs.tmu.ac.jp/528.html>

2. 「申し送り」の実践報告

目 標：申し送りを聞いて理解できること、自分の言葉で伝えること

時 間：150分

教 材：オリジナル教材(参照：授業プリント)

授業の流れ

I. 「申し送り」を聞きましょう

1) 聞いてメモをとりましょう(わからない言葉もいっしょにメモをとりましょう)

2) もう一度聞いて、質問に答えましょう

II. 語彙・表現を覚えましょう

III. 「申し送り」を聞きながら、_____にことばを入れましょう

IV. 申し送りのスクリプトを読んでみよう

V. もう一度、Iの質問について答えよう(しっかり理解をしよう)

VI. 自分の言葉で佐藤さんの状態を説明できるようにしよう

⇒工夫した点

- ・聞くときのポイント(いつ、だれが、なにを、どうする)を示す「I」
- ・自分の言葉で伝えられるように支援する「VI」
- ・仲間の申し送りを聞いて良い点を探す(わかりやすい申し送りを目指すために)「IV, VI」

○活動全体で特に意識した点

- ・明日からの仕事で役に立つように、実際の就労現場を意識する
- ・参加者の既有知識を引き出し、教師が常に教えることはしない(教師は介護職員ではない)
- ・「実際の仕事でもできそう」という自信につながるように支援をする

3. 候補者の感想(アンケート一部抜粋)

聴解(申し送り、声かけ)に関する感想は、仕事に関する内容が多かった。

- ・「申し送り/声かけは毎日使うのでとても役に立つだと思います」
- ・「実際に申し送りはとてもはやいのでこちらで練習した聴解はとても役に立つと思います」
- ・「聴解はまるで本当の申し送りですので、自分がどんな感じか、よくわかった」

● ショートステイについての申し送り

I. 「申し送り」を聞きましょう。

- 1) メモをとりましょう。（わからない言葉もいっしょにメモをとりましょう。）
- 2) もう一度聞いて、下の質問に答えましょう。

① 佐藤さんはどうやって施設に来ますか。

② ご家族に何を聞いておきますか。

・ _____
・ _____

③ ご家族には何をしてもらいますか。

④ 佐藤さんの在宅での様子はどうか。

⑤ 介護福祉士として、佐藤さんを介助するとき、どんなことに注意をしますか。

IV. 申し送りのスクリプトを読んでみよう。

本日よりショートステイを利用される佐藤さんの申し送りです。

ご家族に付き添われて10時にいらっしゃいます。

ご家族より荷物を預かり、薬の変更有無と利用期間分の薬があるか確認をしてください。

余分な薬は、ご家族に持ち帰っていただいでください。

また、利用期間中の緊急連絡先を再確認してください。

それから、佐藤さんの在宅での様子ですが、摂食時にむせることが多いようなので、誤嚥に十分気をつけてください。

また、補聴器を使用されていますので、よろしくお願ひします。